

- ◆企画名 グローバル・キッチン part.1  
 日程 平成27年6月17日(水)  
 場所 総合学生会館凜風館2階 生協食堂  
 参加者数 24名(ピア・サポータ5名、研修生4名、日本人学生14名、留学生1名)  
 目的

- ・留学生に日本の食文化を知ってもらう。
- ・日本食体験を通じて日本人学生と留学生との国際交流をはかる。

#### 内 容

- 15:00～15:50 設営
- 16:00～16:20 受付
- 16:20～16:40 企画開始、あいさつ、自己紹介、調理説明
- 16:40～17:40 調理
- 17:40～18:15 実食
- 18:15～18:20 アンケート記入
- 18:20～18:30 片付け
- 18:30～18:40 栄養士さんに質問コーナー
- 18:40～18:45 写真撮影、あいさつ
- 18:45～18:55 最終撤収
- 18:55～19:00 フィードバック

#### 効 果

- ・おにぎりのみそ汁という日本食の原点である料理を日本人学生と留学生が一緒に作ることで、よって気軽に国際交流を行うことができた。
- ・おにぎりのみそ汁という簡単で手軽な料理を伝えることにより、留学生が一人でも気軽に日本食を作り、日本文化に触れることができるようになった。

#### 改 善 点

- ・留学生が少なかったため、留学生への広報をより活発に行う。(授業訪問の予約を事前に余裕をもって行う等)
- ・企画準備や実施等に関して、生協に頼りすぎてしまった部分があったため、しっかりと運営者としての自覚を持ち、能動的に行動する。
- ・司会をより活発に盛り上げるようにすべきだった。司会の進行をさらに元気よく行うことを徹底し、また当日スタッフに司会の適任者がいる場合はその人に司会を依頼する等を通して、企画実施時の盛り上がりを改善していく。

#### 感 想

本企画は、日本人学生と留学生とが共に一つの料理を作り上げることを主な内容としている。留学生にとっては日本という異国の食文化を知る機会となり、日本人学生にとっては自国の文化を留学生に伝えることができるという大きなメリットがあるだけでなく、共同で一つの物事をする事で、互いにいつの間にか打ち解け合えるという大きな利点を含んでいる。

残念ながら本企画には留学生の参加申込者が少なかったため、当初想定していた企画の魅力を提供することが困難であったが、KUブリッジの留学生スタッフをはじめとして運営スタッフがその穴を埋めるかのように参加者と交流し、結果的に非常に和気藹々とした雰囲気を作り出して盛り上がりの良い企画に仕上げることができた。

今後の大きな課題は、留学生の参加率・集客率を向上させることである。私たちの企画の魅力をどのように留学生に伝えていくかという事や、私たちと留学生の距離を縮める事が焦点になりそうである。